

2023年度 第2回医療安全監査委員会 結果概要

日時：2024年2月27日（火）13：00～15：50

場所：国立国際医療研究センター病院 研修棟5階小会議室

出席者：（外部委員） 山本 知孝 東京大学医学部附属病院環境安全管理室長

細川 大輔 細川大輔法律事務所弁護士

島 宏一 グリー株式会社取締役監査等委員

（内部委員） 武井 貞治 国立国際医療研究センター企画戦略局長

込山 愛郎 国立国際医療研究センター理事長特任補佐

（院内参加者） 杉山 温人 病院長

宮寄 英世 副院長・医療安全管理責任者

高本 真弥 医療安全管理部門長・室長

早川 祥子 医療安全管理者

百武 弘志 医薬品安全管理責任者

深谷 隆史 医療機器安全管理責任者

大曲 貴夫 国際感染症センター長

堀井 久美 専従感染管理認定看護師

河合 公生 総務課長

高田 賀将 患者相談専門職

伊藤 哲麻 医療安全管理室事務係長

■ 報告・審議事項

- ・ 指針、規程の改訂について
- ・ 医療安全管理室構成員について
- ・ 医療に係る安全管理のための委員会（医療安全管理委員会、リスク分析委員会、医療機器安全管理委員会、透析機器安全管理委員会、医薬品安全管理委員会）
- ・ 医療安全管理部門への報告（インシデント・アクシデントレポート、患者影響レベル 3b 以上事例、患者影響レベル 3a 事例、患者影響レベル 2 以下事例、放射線事例、合併症事例）
- ・ 外部への報告（医療事故情報収集等事業、医療事故調査・支援センター）
- ・ 医療安全に係る研修実施状況（全職員対象、中途採用者、その他）
- ・ 第三者評価
- ・ 医療安全に係る取り組み（リスクマネージャー会議、医療安全パトロール、NCGM 秋の医療安全推進週間、転倒・転落対策チーム、個人情報漏洩に関する取り組み、転倒転落防止に関するその他の取り組み、患者誤認防止に関する取り組み）
- ・ 未承認新規医薬品等評価部報告
- ・ 高難度新規医療技術評価部報告
- ・ 紛争事案
- ・ 院内感染管理室報告

■ 講評

- ・ 前回の委員会での指摘事項について適切になされていることを確認した。患者影響度は低いが重要度が高いと考えられる事例にも迅速に対応されている。
- ・ 臨床研究部門との医療安全に関する連携強化については望ましいことであるため維持していただきたい。
- ・ 会議に欠席したリスクマネージャーの速やかな事後対応を行うよう引き続き働きかけていただきたい。
- ・ 外部講師を招いた講演会では職員が当事者意識を高く持ちより多く会場参加するよう努めていただきたい。
- ・ 医療事故事例における遺族の心情に配慮した対応を今一度心掛けていただきたい。
- ・ 感染管理のプロセスサーベイランスについては業務負担に配慮しつつ継続して取り組んでいただきたい。

【指摘事項への対応】

- ・ 患者影響度は低いが重要度は高いと考えられる事例への対応を継続し、未然防止の強化を図っていく。
- ・ リスクマネージャー会議を欠席したリスクマネージャーが速やかに事後対応するよう働きかけを強化継続する。会議の内容をリスクマネージャーの主体的な活動を主としたものに変更することを検討する。
- ・ 次回の医療安全講演会に際しては周知を強化し各職員が当事者意識を持ち参加するよう工夫する。
- ・ 医療事故事例において遺族の心情に配慮した対応を一層心掛ける。
- ・ 感染管理のプロセスサーベイランスについて継続して取り組む。